

平成24年度

平成24年11月20日(火)市教研

学習指導案



(生徒作品より)

講師

千葉市立高洲小学校 教頭

吉岡 龍子 先生

時間	学級	場所	教科・单元名	指導者
14:00~14:50	1年5組	1年5組教室	英語 Lesson6 My family in the UK	中澤 早苗
	2,3年5組	2年5組教室	社会 グローバル化が進む世界	植田 浩章
15:10~16:30		多目的室	研究協議会	

千葉市立椿森中学校

椿森中学校特別支援学級（5組）について

1 学級編成

1 学 年		2 学 年		3 学 年	
男	女	男	女	男	女
3	0	8	0	2	0

計 13名 自閉症・情緒障害2学級 2担任

2 学級教育目標

- (1) 健全な身体と豊かな心を持ち、健康な社会生活を築いていくための基礎を培う。
- (2) コミュニケーション能力を高め、集団生活に適応するための基礎を育てる。
- (3) 自己の将来を考え、上級学校進学のための学力や知識、姿勢を育てる。

本学級は、1年生から3年生までの13名が在籍している。そのうち、2年生1名は長欠であるため、実際は主に12名で活動している。

生徒の実態としては、高機能自閉症や広汎性発達障害、アスペルガー症候群、ADHD、情緒障害など様々であり、学力面はある程度あるが、2,3年生の中には情緒面、生活面において不適応を起こしている生徒が多い。また、自己主張やこだわりの強い生徒が、相手の気持ちを考えずに発言して人間関係がこじれたり、ささいな会話からけんかに発展したりすることも少なくないため、個別の指導を重視し、特に2,3年生への支援を強化させてきた。

さらに、一人一人の指導計画と照らし合わせながら、自分と他者とのかかわり方を学ぶソーシャル・スキル・トレーニングを意識的に行うことで、お互いの人間関係の改善のためのスキルを身に付けさせる活動に重点を置いて取り組んできた。

教科指導においては、国語・社会・数学・理科・英語の5教科は2時間ずつ、教科によって各学年及び複式学級（1・3年と2年）で授業展開している。数学・英語では、基礎学力の定着を図るために1時間のドリル学習、国語では書写の時間を、1時間設けている。また、音楽、美術、保体、技・家の4教科は全学年での一斉授業を行っている。その他、生活単元学習や椿タイム（総合的な学習の時間）、道徳、学活の時間は、校内行事や特別支援行事の事前・事後学習やソーシャル・スキル・トレーニング、進路学習に取り組んでいる。

このように、学活や生単、道徳、技能教科などは3学年一緒に行っているため、上級生が下級生をリードするよい面がある一方、学年間のギャップや人間関係のつまずきなども見られ、その都度個別に支援をしている。

学級経営の重点項目

- (1) 中学校生活の基礎となる健康な身体の育成を目指し、充実した体育の学習を行う。
- (2) 美しいものや純粋なものを見聞し、素直に感動できる感受性を高めると共に、それらを豊かに表現する力を養うため、音楽や美術の学習を充実させる。
- (3) 生徒一人一人の個性や発達課題を的確に把握し、学習内容の精選・強化に努める。
- (4) 各自が目標を持ち、お互いが理解し、認め合えるような学級集団づくりを目指す。
- (5) 自己に自信をもち、意欲が高められる具体的実践（学級行事等）の機会を作る。
- (6) 社会的自立を目指し、進学への意識や意欲を高めるための進路指導の充実を図る。
- (7) 家庭との連絡を密に図り、将来のための基本的な生活習慣が身につくよう支援する。

3 教育課程の編成について

学校教育法施行規則第73条19『教育課程の編成の特例』に基づき、生徒の実態及び学級の状況を把握して特別に編成を行っている。 《週29時間授業》

国語	数学	英語	理科	社会	美術	技家	保体	音楽	生単	道徳	学活	総合
3	3	3	2	2	2	1	3	2	4	1	1	2

4 交流教育

(1) 校内での交流について

- 交流学級 各学年毎に交流学級を設け、行事の内容によって適宜対応し、双方に負担のかからないよう配慮しながら交流を図る。
- 全校行事等 原則として学級単位での参加だが、行事内容や生徒の実態に応じて対応する。
- 修学旅行等 生徒の実態に合わせて交流学級に入ったり、学級単位で参加する。
- 生徒会活動 活動内容や生徒の実態を考慮して対応する。

(2) 千葉市内特別支援学級との交流について

- ・「げんき交流会」7月：
千葉市主催で市内小・中特別支援学級、特別支援学校の児童生徒が集まりスポーツ（バスケット・フライングディスク）やゲームなどをして交流を深める。
- ・「げんきキャンプ」12月5日～7日：
市内中学校特別支援学級の合同宿泊行事。長柄少年自然の家で2泊3日の宿泊学習を行う。
- ・「スポーツ交流会」（マラソン大会）12月中旬：
市内中学校特別支援学級合同によるマラソン大会を行う。（青葉の森公園）
- ・「千葉市中学校特別支援学級合同予餞会」2月1日：
千葉市内の全中学校特別支援学級の合同行事。学習発表と3年生を送る会を行う。
(若葉文化ホール)

5 進路指導

- (1) 適時、個別面談や三者面談等で生徒・保護者と進路や将来に対する展望について話し合い、一人一人に応じた進路指導を進めていく。
- (2) 特別支援・通常学級双方の進路情報を適時、提供する。

6 時間割表

	月	火	水	木	金
1	生 単	英語ドリル	体 育	数学ドリル	美 術
2	英 語	数 学	国語ドリル	技術家庭	美 術
3	理 科	体 育	数 学	国 語	社 会
4	音 楽	理 科	音 楽	英 語	体 育
5	国 語	生 単	社 会	生 単	椿タイム
6	生 単		学 活	道 徳	椿タイム

7 年間行事について

月	学校行事	特別支援合同行事	テスト・進路関係
4	前期始業式 入学式 授業参観 P T A総会		
5	生徒総会 修学旅行(1,3年) 体育祭		
6	おやじの会	げんき交流会	前期中間テスト 3年実力テスト
7	総体壮行会 夏季休業	夏期作品展	第一回進路説明会
8	夏季休業	特別支援教育進路説明会	
9	自然教室(2年) 防災訓練		3年実力テスト 前期期末テスト
10	前期終業式 後期始業式 文化発表会 授業参観・バザー		進路面談
11			3年実力テスト 後期中間テスト 進路面談
12	三者面談	元気キャンプ マラソン大会	
1		総合展	
2	新入生保護者説明会	合同予餞会	卒業テスト 後期期末テスト 公立前期選抜・発表
3	予餞会 卒業式 修了式		公立後期選抜・発表

日課時程 A時程(50分授業) B時程(45分授業)

1年5組 英語科 学習指導案

日 時 11月20日(火) 5校時
 指導者 中澤 早苗
 場 所 1年5組教室

1. 単元名 NEW CROWN ENGLISH SERIES 1 Lesson6 My Family in the UK

2. 単元の目標

- (1) 会話のマナーを守り、友達の好きなことについて会話することができる。
- (2) 内容が伝わるように友達についての紹介文を音読することができる。
- (3) 3人称単数現在形を含む文を使い、友達についての紹介文を書くことができる。

3. 本時の指導

(1) 本時の目標

- ①会話のマナーを守り、相手の話をメモしながら聞くことができる。(知識・理解)
- ②3人称単数現在形を用いた英文を正しく書くことができる。(表現)

(2) 展開

	学習内容と活動	教師の指導○と支援◇	資 料
導 入	1. 英語であいさつをする。 2. 前時の復習をする。 ・本文を読み,Q and A に答える。 ・絵を見て表現する。	○一人一人に話しかける。 ◇英語を学習する雰囲気を作る。 ○フレーズごとに繰り返して読ませる。 ◇ヒントを与えながら答えを引き出す。	テレビ (デジタル教材)
展 開	3. 「1日の生活」の発音練習をする。 get up, eat breakfast, leave home, come home taka a bath, study, watch TV, go to bed 4. リスニング問題を行う。 5. 会話のマナーを守り、クラスの人に何時に何をするか聞いてメモをとる。 6. メモをもとに英文を書く。	○内容を簡単に確認しながら行う。 ◇発音しづらい単語はゆっくり、繰り返して指導する。 ○会話のマナーを確認する。 ◇間違いを恐れずに会話するよう促す。 ○動詞の語尾に注意するよう指導する。	テレビ (デジタル教材) プリント
ま と め	7. 書けた英文を発表する。 8. 自己評価カードの記入をする。 9. 次回の内容の説明を聞く。	◇発表する人に注目させる。 ◇今日の活動を振り返って、できたことをほめ、次へつなげるようにする。	自己評価カード

4. 評価

- (1) 会話のマナーを守り、相手の話をメモしながら聞くことができたか。(知識・理解)
- (2) 人称単数現在形を用いた英文を正しく書くことができたか。(表現)

2、3年生 社会科 学習指導案

日 時 11月20日(火) 5校時

指導者 植田 浩章

場 所 2年5組教室

1 単元名 地理的分野／世界と日本の結びつき 「グローバル化が進む世界」

2 単元の目標

- (1) 世界と日本の結びつきについて、「グローバル化」をキーワードに考えることができる。
- (2) 日本と世界の交通や通信、貿易での結びつきについて、興味を持って学ぶことができる。

3 本時の指導

(1) 本時の目標

- ① 学習に集中して取り組み、マナーよく発表したり、丁寧にプリントに記入することができる。
- ② グローバル化や貿易といった内容について、ある程度理解を深めることができる。

(2) 本時の展開

	学習内容と活動	教師の指導○と支援◇	資 料
導 入	1 あいさつ 2 本時の概略について説明を聞く。	◇画面に生徒の意識が向くよう、言葉かけをする ○教科書／パワーポイントで簡略に説明する。「グローバル」というキーワードを提示する。	テレビ PC プリント
展 開	3 「広がる世界の交通・通信網」 ・パワーポイントを眺めながら、プリントに記入したり、教師の質問に答えたりしていく。 4 「活発化する国際貿易」 ・パワーポイントを眺めながら、プリントに記入したり、教師の質問に答えたりしていく。	○パワーポイントを操作しながら、プリントをもとに生徒に記入させたり、質問する。 ◇生徒ごとに、記入するスピードが違うので、適時確認する。書き終わって待っている生徒に質問していく。	テレビ PC プリント
ま と め	5 まとめ ・本時の内容について、教師からの質問に答える。 6 次回の内容の説明を聞く 7 あいさつ	○本時の内容のキーワード「グローバル化」について、個々の意見を聞く。 ◇質問内容は生徒の身近な内容などに絡める。	

4 評価

- (1) 学習に集中して取り組み、マナーよく発表したり、丁寧にプリントに記入することができたか。
- (2) グローバル化や貿易といった内容について、ある程度理解を深めることができたか。